

# 教育センター学びの丘長期研修員研修の概要について

田辺市立高雄中学校  
教諭 有本 佐智

和歌山県教育センター学びの丘における長期研修員研修は、教育に関する専門的・技術的事項について研修し、教職員としての資質能力を高めるとともに、今日的教育課題解決のための研修・研究を行い、その成果を本県教育の充実に生かすことを目的とし、実施されている。言うまでもなく、教員は絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。研究とは「物事を詳しく調べたり、深く考えたりして、事実や真理を明らかにすること」、修養とは「知識を高め品性を磨き、自己の人格形成につとめること」(『大辞泉第2版』2012、小学館)とある。

今回、長期研修員研修を「自己の専門性をより向上させるための研究と、教員としての資質を広く高める修養の機会(下図参照)」として捉え、1年間研鑽を積むこととなった。研修期間中は、センター等が実施する多岐にわたる研修講座や指導主事等による「研修員研修」の受講、所属校における学校課題解決のための校内研修への参加等をとおして、幅広く教員としての資質能力の向上を目指してきた。

この1年間は、自分自身の在り方や実践について振り返り、そこから見えてきた課題と向き合うまたとない機会となった。各向上トレーニングからは、本県や所属校の現状を見つめ直し、「ミドルリーダー」として自分が組織の中で果たすべき役割について考察することができた。また、専門研修講座の受講等からは、生徒理解を深め、指導や支援の方法を学んだり、実践交流をとおして他校の取組を学び、互いの助言をもとに課題解決に努めたりすることができた。

研究では、習得と活用を意識した国語科の授業づくりに取り組み、他校種、他教科の指導主事や研修員から意見をもらうことで、系統性や教科横断的な視点の重要性に気づくことができた。また、授業研究では、所属校の教員との連携を図ることでより生徒の実態に応じた授業を行うことができ、次期学習指導要領改訂を意識した授業が提案できたのではないかと感じている。

今後は、この1年間で得たことを学校に還元するとともに、研究を行う中で新たに浮かび上がった課題についてさらなる研究と実践を行い、自己研鑽に努めていきたい。

なお、自己の専門性を向上させるために、年間を通して行った研究については、別途「研究報告書」としてとりまとめることとする。

| 段階 | 第1段階<br>基礎期  | 第2段階<br>向上期                       | 第3段階<br>探究期                         | 第4段階<br>充実期                        | 第5段階<br>修了期  |
|----|--|-----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|--------------|
| 月  | 4月～5月  | 6月～8月                             | 9月～11月                              | 12月～1月                             | 2月～3月        |
| 研究 | ・研究テーマ、方向性を設定し、第1回報告会で発表   | ・所属校での授業研究に向けた単元計画、資料等の作成、模擬の授業実施 | ・授業・研修研究計画を立て、第2回報告会で発表<br>・授業研究の実施 | ・授業研究で収集したデータ分析<br>・和歌山教育実践研究大会で発表 | ・研究報告書、資料の作成 |
| 修養 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">所属校研修「所属校との連携・研修成果の還元」</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>■「授業力」「学校組織開発力」「校内研修運営力」向上トレーニング</li> <li>■専門性の向上を目指す専門研修講座等受講</li> <li>■初任者研修、10年経験者研修等聴講</li> <li>■学びの丘指導主事等による研修員研修</li> </ul> |                                   |                                     |                                    |              |

図 研修の概要